

2017年秋季年末闘争・組織拡大

2017年9月19日/第3号

建交労道本部闘争速報

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL011-711-7377
FAX011-711-7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

安倍9条改憲許さない

全国統一署名スタート集会

9月12日、札幌で「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名スタート集会」が開かれました。北海道憲法共同センターと道労連が主催したもので、「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が呼びかけた3000万人署名推進の運動を北海道でも大きく広げることを確認しました。

集会では全労連の小田川義和議長が基調報告をおこない、安倍首相の期限を区切り、9条に的をあてた「改憲発言」の特徴と、いわゆる「加憲」論（9条に3項を加えて自衛隊を明記する）について「1項の交戦権の否認、2項の戦力不保持を形骸化し、『武力によらない恒久平和の実現』から『武力による平和』へと変質させるものだ」と述べて、改憲発議を阻止するために全力をあげることを呼びかけました。

ニセ「働き方改革」NO!

STOP! 労基法「改悪」 NO! 過労死 緊急市民集会

日本労働弁護団北海道ブロック・札幌地区労連・札幌地区連合などがナショナルセンターの違いを越えて、9月13日に札幌で「市民集会」を開きました。集会では、安倍政権が臨時国会への提出をねらっている労働基準法改悪など「働き方改革」推進法案を撤回させ、廃案に追い込む決意を固めました。労働弁護団からは、高度プロフェッショナル制度（残業代ゼロ）制度と裁量労働制拡大について「労基法が改悪されて使用者に労働時間管理の責任がなくなれば命と健康が破壊される」という報告がされ、札幌地区労連の赤坂正信議長は「残業代ゼロ制度は過労死促進法だ。市民と労働者の連帯と共同をいっそう前進させて廃案に追い込もう」と訴えました。

札幌ダンプ支部に1人が新加入

9月にはいって、札幌ダンプ支部が新しい仲間1人を迎えました。「仕事」の要求で建交労に加入しました。

「北海道じん肺のつどい」

9月16日、「アルテピアッツァ美唄」で毎年恒例の「北海道じん肺のつどい」がおこなわれました。秋晴れの好天に恵まれ、紅葉も始まった中、北海道石炭じん肺訴訟（旧）の遺族、新・北海道石炭じん肺訴訟や北海道建設アスベスト訴訟の原告、弁護団など40人が集まり、たたかいを振り返りつつ、じん肺根絶のために引き続きがんばっていくことを誓い合いました。